



かながわ自民党

# 県議団NEWS

平成24年第3回  
定例会報告号

<http://www.kanagawajimin.jp/>

## 神奈川県議会議員 藤代ゆうや

昨年、文教常任委員会委員・震災対策調査特別委員会委員・決算特別委員会委員として様々な視点から、各委員会  
で質問いたしました。文教常任委員会では、「いじめ問題」震災対策調査特別委員会では、「神奈川県地震災害  
対策推進条例」決算特別委員会では、「電気事業経営」  
「都市農業支援」などを中心に質問いたしました。今年も  
県民目線に立ち、しっかりと行動してまいります。

事務所 大和市中中央2-14-6 下田ビル1階  
電話 046-200-5220 Fax 046-264-9215



### 藤代ゆうや議員が質問を行いました 平成24年第3回定例会 9月25日 一般質問



- ◆知事のトップセールなどを活用した海外との経済交流について  
県内企業の海外展開と外国企業の県内進出を促進することで、本県  
経済の活性化に寄与するとともに、海外との交流を継続していく礎となる  
神奈川のファンを増やしていくきっかけにもなりますので、今後とも積極的  
に行っていく。（知事答弁）
- ◆県立高校における国際社会に対応できる人材の育成について  
国際社会に対応できる人材の育成に努めてまいります。（教育長答弁）
- ◆南海トラフ巨大地震に係る被害想定への対応について
- ◆県民の健康寿命の延伸について
- ◆県央地域の活性化について  
県と市町で、企業を誘致し、産業集積を促進するための「協議の場」を  
設け、県内進出を考えている企業の情報を共有するとともに、迅速に産業  
適地を整備する手法や必要な規制の見直し、効果的なインセンティブ等を  
検討していく。（知事答弁）
- ◆引地川の河川改修の促進について  
測量などの調査に着手し、地元の皆様のご協力をいただきながら、整備  
を進めてまいります。（県土整備局長答弁）

（答弁一部掲載）

#### 団体ヒアリング開催

7月10日（火）～7月17日（火）に  
かけて、神奈川県庁舎内で各種団  
体に対して予算要望ヒアリングを  
行いました。今年は全68団体から、  
4日間かけてじっくりと要望を受け  
止め、様々な意見交換を行いま  
した。

各団体はそれぞれ切実な悩み  
や苦勞を抱えており、わが自民  
党県議団はそれらの支援や解決  
のため可能な限り来年度の予算  
に反映させるよう、努力してま  
います。

（一部8月7日に開催）



団体の要望を聴く藤代ゆうや議員

#### 常任委員会で県外調査を行いました



・私立通信制高等学校  
勇志国際高校  
（熊本県天草市）

野田将晴校長の熱意溢れる  
教育論をお聞きました。

日本の教育の再生は、今後  
の国を左右する重要な問題  
です。

私も教育現場の課題に真剣  
に取り組んでいきます。

8月29日～9月7日にかけて、各常任委員会は県外調査を行いました。県  
内のみならず幅広く県外の施設などを訪問し調査を行った結果を、今後の  
神奈川県の発展に生かしてまいります。

各常任委員会の日程と主な調査地は以下のとおりです。

総務政策	9月5日～7日	長崎県（佐世保基地など）
防災警察	9月5日～7日	東京都・福岡県・鹿児島県
県民企業	9月5日～7日	北海道（NPO法人ふらの演劇工房など）
環境農政	9月5日～7日	北海道（足寄町役場など）
厚生	9月5日～7日	鹿児島県（太陽の子児童館など）
建設	9月5日～7日	北海道（函館開発建設部など）
文教	8月29日～31日	熊本県（熊本県教育委員会など）

#### 市町村ヒアリング開催

7月20日（金）～7月31日（火）に  
かけて、神奈川県内各市町村に対  
し予算要望ヒアリングを行いま  
した。各市町村長から直接自治体  
の抱える課題や、実現を目指す計  
画などを聴かせていただきました。

また同時に市町村内の視察も行  
いました。自民党県議団は可能な  
限り要望を予算に反映させるよう  
努力してまいります。



市長村長の要望を聴く議員

#### 県有施設（出先機関）の見直し

神奈川県緊急財政対策で示された  
県有施設（出先機関）の見直しの方向  
性に基づき、現行の18県税事務所の  
再編が行われます。今後の方針について、  
またご報告をしたいと思います。



#### ペーパーレス化に向け始動 所属議員全員にiPad

自民党県議団は第3回上期定例会から、タブレット型コンピュ  
ター・iPadを導入しました。紙を極力使わず、資料はデータ化してiPad  
で閲覧する事を目指します。また、膨大な資料をiPad一台に集約し持  
ち運べるため、議員の活動も一層の効率化が期待されます。



### 第3回上期定例会（9～10月開催）において、補正予算案 19億 8,700万円などが可決されました

県議会第3回上期定例会は10月16日の本会議で、総額19億8,700万円の補正予算案などを可決しました。自民党県議団は本定例会に提出された諸議案に対し賛成の立場ではありますが、知事の緊急財政対策などの政策や様々な発言には苦言を呈さざるを得ない部分もあります。厳しい県財政状況の中、県民や市町村、各団体、そして県議会と深く建設的な議論をし政策を進めるよう強く要望しました。下期定例会は11月28日から開催されます。

#### 代表質問

第3回上期定例会において、自民党県議団を代表して、杉山信雄議員（川崎市川崎区／9月13日）及び、しきだ博昭議員（横浜市都筑区／9月18日）が質問を行いました。杉山議員は「知事の政治姿勢」など、県財政やこれからの県のあり方について今後の見通しや県が目指す姿を知事に問いました。しきだ議員は「本県における海外展開」「就業支援施策」「森・川・海のつながり」などについて知事の見解を質しました。両議員の詳しい質問内容と、知事の答弁については神奈川県ホームページからご覧いただけます。



代表質問を行う杉山議員（左）としきだ議員（右）

#### 予算委員会

自民党県議団は、10月9日の総括質疑において、「9月補正予算案と県の財政状況」「緊急財政対策に係る県有施設及び補助金の見直し」などについて、10月10日の一般質疑において、「バリアフリーによる障害者の自立支援」「ひとり親などへの支援」などについて、質疑を行いました。



予算委員会の様子

#### 討論

10月16日本会議にて、自民党県議団を代表して、国松誠議員（藤沢市）が提出された諸議案に賛成の立場で討論を行いました。

【緊急財政対策】 県有施設について、個々の施設ごとに検討の方向性が示されましたが、課題等結果に至った経緯が不明であり、10月中の説明を求めました。また、団体や市町村への補助金についても、見直しの分類を行ったのみで、その過程については不明であり、改めて議会に説明するよう求めました。これらは県民生活や団体活動に影響を及ぼすものである為、議会及び関係者へ丁寧に説明した後意見を斟酌した上で最終的な方向性を示すよう要望しました。

【地域主権実現の為の指針と神奈川州構想】 これまで指針については様々な議論を重ねてきましたが、今般唐突に「神奈川州構想」が示されました。現時点では問題点も多く、さらに慎重かつ深い議論を求めました。

【地震災害対策推進条例素案】 条例の制定後には、県民に広く周知し、自助・共助・公助の基本を理解して頂けるように努めるとともに、市町村及び事業所との連携にも力を注ぐよう求めました。

【原子力災害対策計画の修正】 本県にとって重要な災害対策計画であり、今後国との連携による応急対策活動や避難区域の設定、SPEEDIの確実な受信など、この計画の実効性を確保するよう要望しました。

【サイバー犯罪】 日々変化するサイバー犯罪に対応するため、犯罪に対抗できる警察官の育成や体制の強化を要望しました。

【神奈川県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画骨子案】 県民の健康を守る上で重要な課題であり、大気環境基準の早期達成に向けて取り組むよう要望しました。

【国からの交付金】 本年度で期限を迎える基金の多くは執行率が90%前後です。基金の再検証とメニューの自由度を広げるなど国に働きかけることを要望しました。

【看護師養成策】 現状、不足している看護師就業数の増員は、多くの課題があり至難の業です。准看護師養成に取組む専門学校が円滑に正看護師養成に転換できるよう十分な支援策を一日も早く具体的に示すとともに、学校が転換を検討する期間を確保することを求めました。

【さがみロボット産業特区】 生活支援ロボットの普及を図るため、企業と企業、企業と実証現場のマッチングを行い県経済のエンジンを回す役割を果たすよう要望しました。また、県版特区の取組みが産業集積を図る上で最も重要であり、国の特区指定と県版特区に積極的に取組むよう併せて要望しました。

【障害者雇用の促進】 未だ不十分な障害者雇用の充実のため、職域・就労の場の拡大に努めるとともに、わが会派提案の「バイ・チャレンジド運動」など障害者雇用に関心ある企業を支援していく取組みも重要で、本県でも障害者雇用の機運を高める取組みを展開することを提案しました。

【防災に向けた河川情報の提供】 大雨による被害が頻発する昨今、住民の自主避難や市町村の水防活動等が円滑に行われるよう、河川の防災情報を得るための観測施設を充実させることを要望しました。

【いじめ問題への対応】 いじめ根絶には、子どもたちだけでなく、保護者や地域社会全体へ働きかけが必要です。絶対に痛ましい事件を起こしてはならず、何より早期発見に努めること、そして神奈川からいじめを根絶するまで徹底的に対策を実施するようわが会派も取組んでまいります。

【世界遺産登録】 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録は県民の悲願であり、今後市町村や関係団体と連携を図りながら、県が先頭に立ち取組むよう要望しました。



討論を行う国松議員

#### 一般質問

第3回上期定例会において、自民党県議団からは杉本透議員（足柄上郡／9月20日）、守屋てるひこ議員（小田原市／9月21日）、あらい絹世議員（横浜市磯子区／9月21日）、山口貴裕議員（厚木市／9月25日）、藤代ゆうや議員（大和市／9月25日）、木村謙蔵議員（三浦市／9月26日）が一般質問を行いました。それぞれ、「リバースオークション」「かながわの水」「高齢福祉分野における地方分権」「厚木警察署の建替え」「海外との経済交流」「新たな観光の核づくり」などについて知事の考えを問いました。各議員の詳しい質問内容と、知事の答弁は神奈川県ホームページからご覧いただけます。



写真左から、杉本議員、守屋議員、あらい議員、山口議員、藤代議員、木村議員

#### 「引地川の河川改修の促進について」



「引地川の河川改修の促進について」9月25日に神奈川県議会にて質問させて頂きました。写真で私が立っているのは、引地川にかかる大山橋です。大和市と藤沢市の境にあるこの橋は、橋の狭さと橋周辺の川幅の狭さが問題となっており、早期の改良をしなければならない地点となっています。この場所はもちろんのこと、昨今多発するゲリラ豪雨などの天災から、市民の生命と財産を守るために今後も様々な対応をしていきたいと考えています。

#### 請願

本定例会において以下の請願が採択されました。

- ▼請願第29号  
私学助成等についての請願

#### 意見書・決議

本定例会において以下の意見書案・決議案が可決されました。

- ◆香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書
- ◆李明博韓国大統領の竹島上陸等に抗議し、政府に対韓外交の見直しを求める意見書
- ◆定期予防接種に係る財源措置等を求める意見書
- ◇第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致を支援する決議